



祝 三陸鉄道全線運行再開(平成26年4月6日)

東北鉄道協会における平成25年度の活動報告
～東北の鉄道を元気にする取り組み
と技術力共有化事業等～

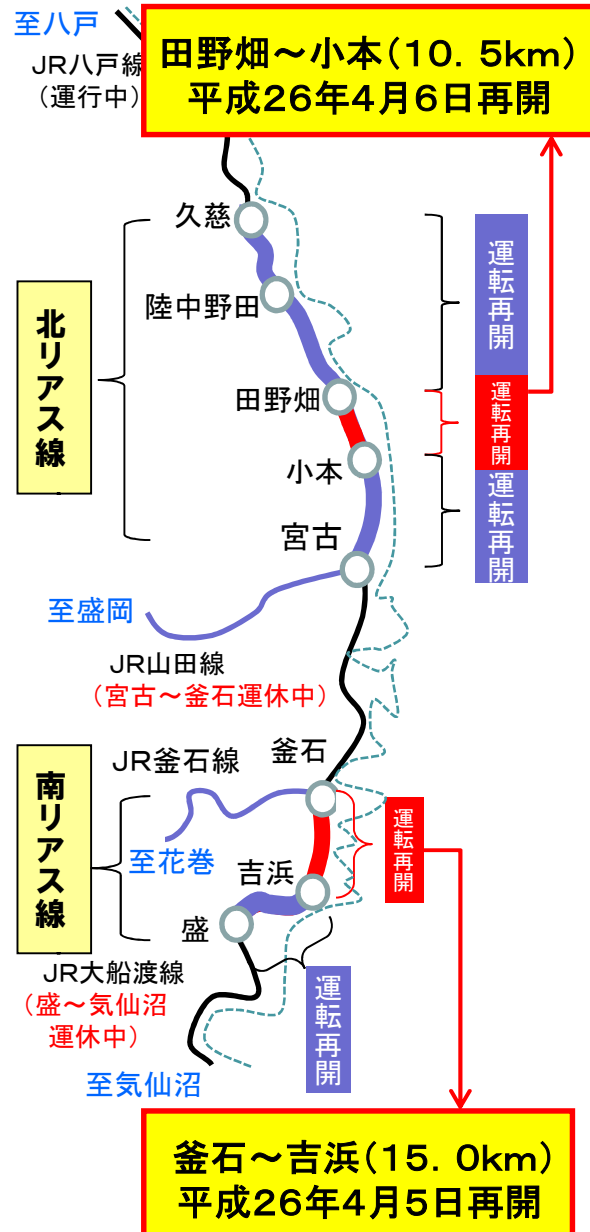
平成26年6月26日

国土交通省東北運輸局・東北鉄道協会

1. 東北鉄道協会が推進してきた「中小鉄道事業者連携プロジェクト（技術力共有化事業と相互送客事業）」は、平成21年10月、我が国の鉄道の発展に貢献した取り組みと評価され、「日本鉄道賞 地方鉄道技術連携賞」を受賞しました。
2. また、東日本大震災以降、東北鉄道協会が中心となって進めてきた「東北ローカル線 復興支援キャンペーン」は、平成23年10月、「日本鉄道賞 表彰選考委員会特別賞」を受賞しました。
3. 東北運輸局及び東北鉄道協会では、こうした中小鉄道事業者が連携した取り組みを平成20年度より毎年度毎にとりまとめ公表しています。過去の資料は、国土交通省東北運輸局のホームページ「分野別情報の鉄道」をご覧ください。

祝 三陸鉄道全線運行再開（平成26年4月6日）

三陸鉄道全線運行再開（路線イメージ）



東日本大震災により発生した津波等による甚大な被害を受け、その復旧費用は約91億円にものぼりました。しかし、これだけの被害を受けたにもかかわらず、被災5日後には一部区間での運行再開を果たし、更に「災害支援列車」として無料運行するなど、震災直後の地域の足として重要な役割を果たしました。その後も順次運行区間を伸ばし、震災から3年。ついに今年4月6日、全線運行再開を果たすこととなりました。

復旧状況

- | | |
|---------|---------------------------|
| 平成23年3月 | 北リアス線／久慈～陸中野田間、小本～宮古間運行再開 |
| 平成24年4月 | 北リアス線／陸中野田～田野畑間運行再開 |
| 平成25年4月 | 南リアス線／吉浜～盛間運行再開 |
| 平成26年4月 | 北リアス線／田野畑～小本間運行再開（全線復旧） |
| | 南リアス線／釜石～吉浜間運行再開（全線復旧） |

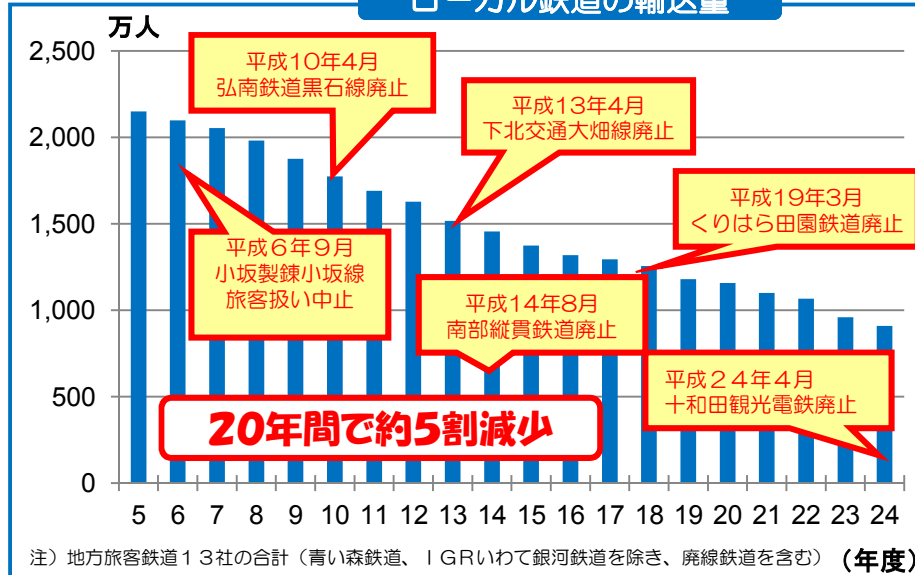


東北地方のローカル鉄道を巡る厳しい状況

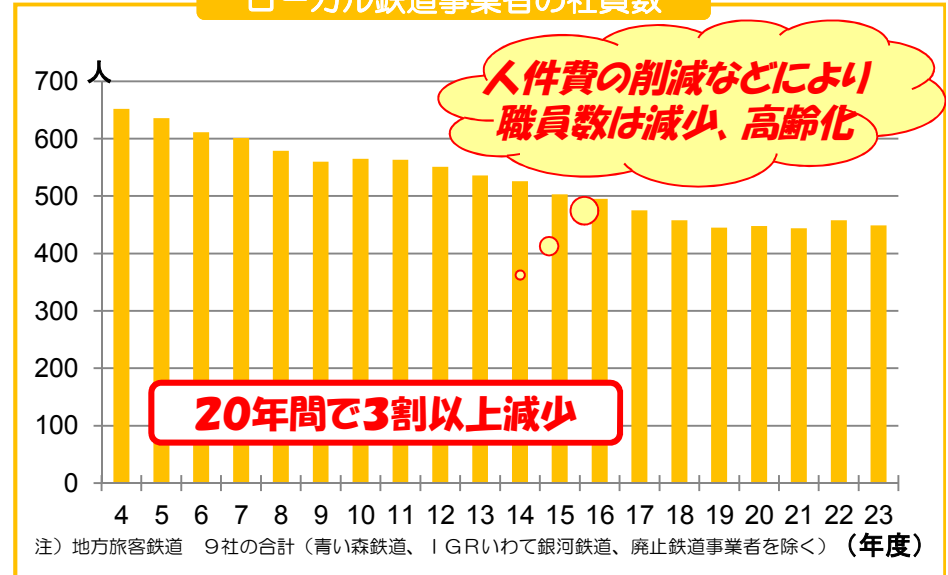
現状と課題

○沿線人口の減少やマイカーへの過度の依存等による利用者の減少、鉄道技術者の不足や高齢化、施設・車両の老朽化など、東北地方の中小鉄道事業者は様々な課題を抱えている。

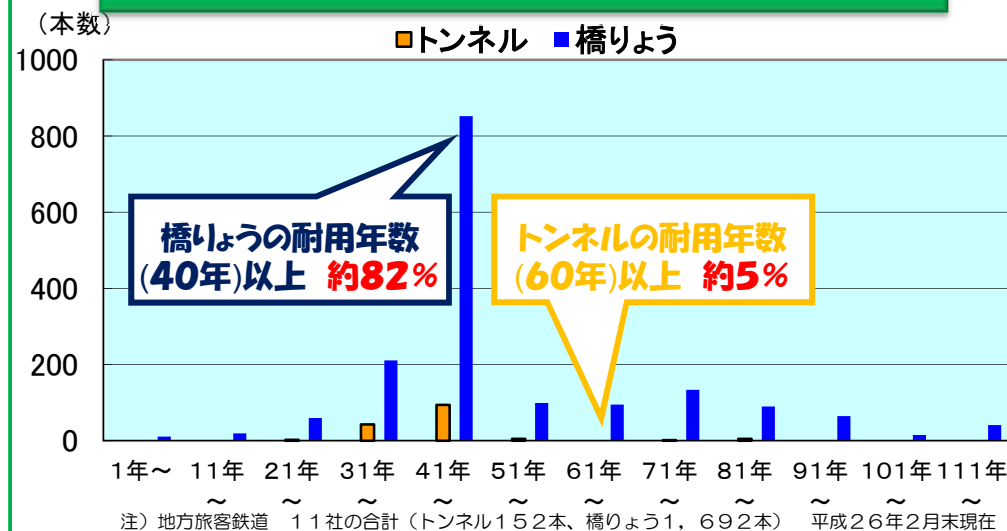
ローカル鉄道の輸送量



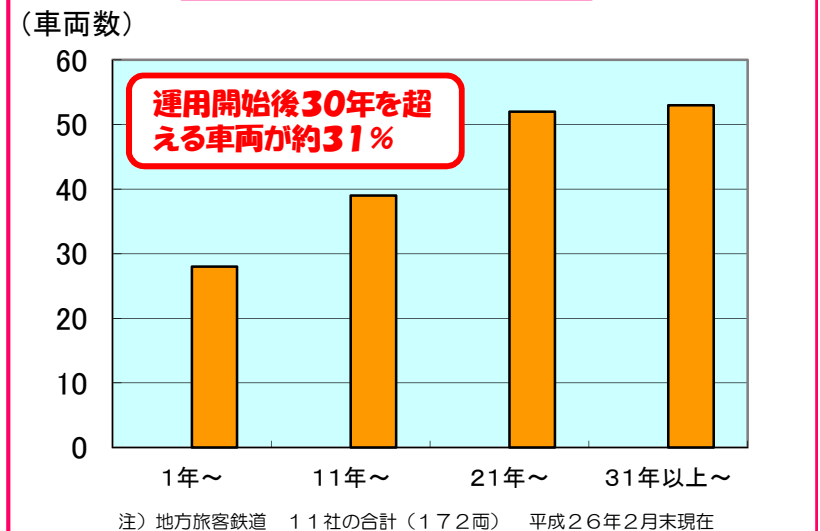
ローカル鉄道事業者の社員数



東北地方における中小鉄道事業者のトンネル・橋りょう数

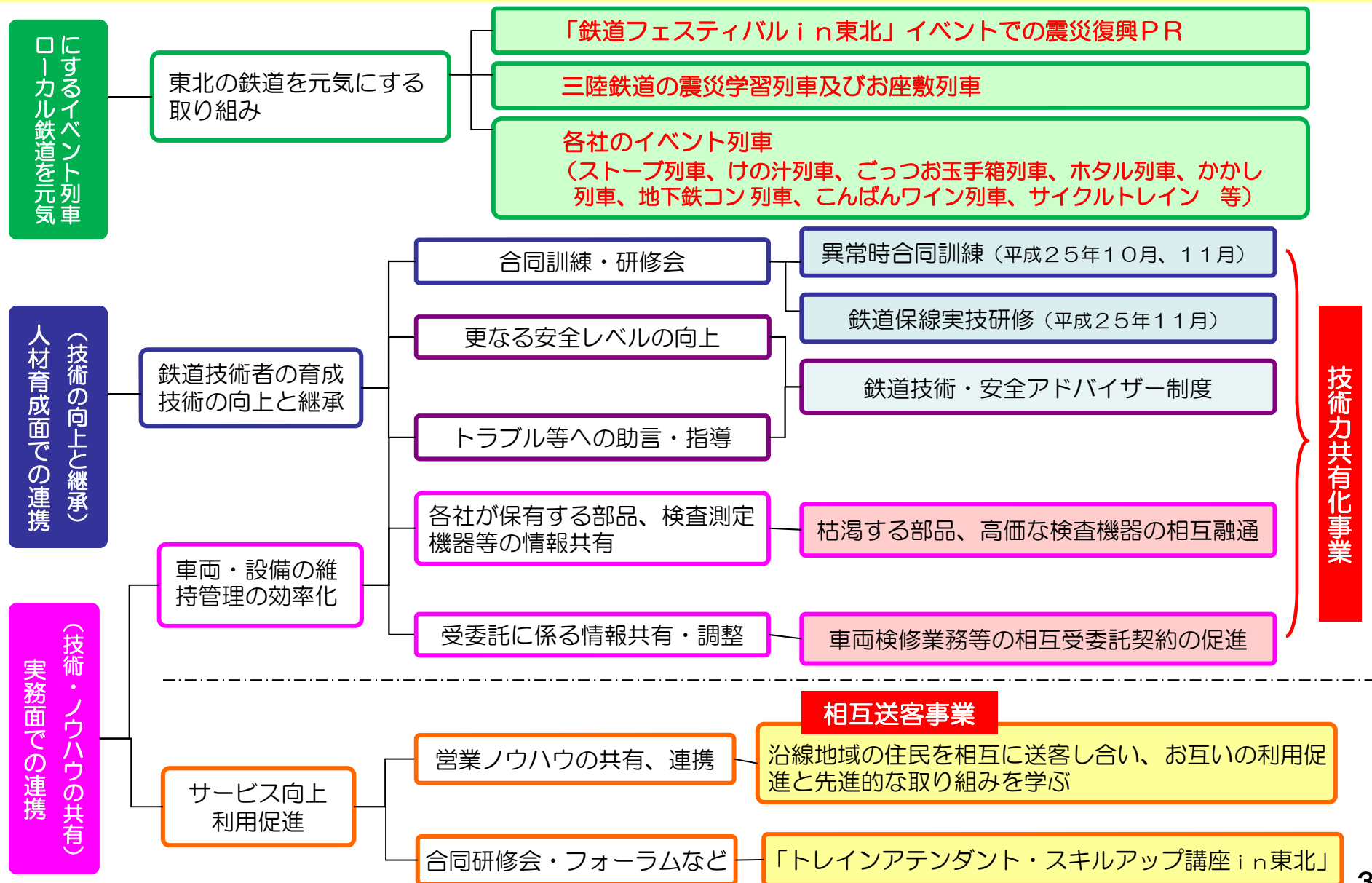


車 齢



平成25年度における東北鉄道協会の取り組み（ねらいと全体像）

東北鉄道協会（民鉄・三セク鉄道事業者等19者で構成：会長 澤田長二郎 津軽鉄道代表取締役社長）では、**安全性の向上並びに東北の鉄道を元気に利用客の減少などの課題を克服**するため、**鉄道事業者間の連携**による幾つもの取り組みを推進しています。



東北の鉄道を元気にする取り組み（鉄道フェスティバル in 東北！！）

これまで沿線自治体やNPOと連携しながら、地域の生活に不可欠な生活の足として、或いは、観光客の誘客やおもてなしに力を注いできた東北のローカル線は、東日本大震災により長期間運休したり、運行再開後も風評被害等により団体観光客のキャンセル等が相次ぎました。

このため、東北のローカル鉄道を元気にする取り組みを実施しています。

鉄道フェスティバルin東北「東北の鉄道 震災復興PRコーナー」

1. 開催日時

平成25年10月6日（日）

2. 開催場所

JR貨物/仙台貨物ターミナル駅

3. 主催者

東北地区「鉄道の日」実行委員会（東北鉄道協会も加盟）

4. 復興関連イベントの内容

恒例の「鉄道フェスティバル in 東北」において、「**東北の鉄道 震災復興PRコーナー**」を設置。1万6000人が来場し、鉄道ファンや家族連れを中心に大盛況でした。

①被災状況や復旧状況を示す**鉄道復興パネル**の展示

②三陸鉄道グッズ販売 など



鉄道復興パネルの展示コーナー



三陸鉄道グッズ販売コーナー



「あまちゃん」の記念写真コーナー
(ヘッドマーク「潮騒のメモリーズ号」)



子供達に人気の「ゆるキャラショー」

東北の鉄道を元気にする取り組み（三陸鉄道の震災学習列車及びお座敷列車！！）

震災学習列車及びお座敷列車

■震災学習列車

三陸鉄道北・南リアス線で三陸鉄道社員または沿線住民が車内で震災の状況などをご案内します。（被災状況がご覧いただける場所にて一旦停止または徐行運転いたします。）三陸鉄道は被災地の復興シンボルとして平成26年4月6日全線開通し、被災地の「今」を列車で移動しながら直接「見て」「聞いて」「感じて」いただき、皆様の防災のお役にたてればと思い「震災学習列車」を運行しております。

申込方法、運行等については、三陸鉄道にお問い合わせ・お申し込み下さい。

■三陸鉄道北リアス線（お座敷列車）

夏はお座敷列車として走る車両「北三陸号」は、北リアス線の久慈-田野畑駅間を運行、NHKの連続テレビ小説「あまちゃん」のロケに使われ、夏休み期間中はほぼ連日満席になるなど好評なことから、秋の観光シーズンの10月まで運行。お座敷列車は1日1往復の定員48人。通路両側に4人掛けテーブルが並ぶ。

海女姿の女性社員が観光ガイドを務め、予約制の「うに丼」も人気です。
※三陸鉄道のアテンダントが海女の服装で車窓案内や車内販売をいたします。



お座敷列車北三陸号



新お座敷列車



新レトロ列車



震災学習列車での風景



お座敷列車での風景

東北の鉄道を元気にする取り組み（イベント列車！！）

その1

津軽鉄道のイベント列車

■津軽鉄道の冬の風物詩「ストーブ列車」

冬季運行のストーブ列車は1日2往復運転、客車にダルマストーブをつけて暖房とし、車窓からの地吹雪の景色を眺める。また、冬季運行のストーブ列車車両を一般車両に連結し、「夏のストーブ列車」としても運行しています。

■6/29～7/7の七夕列車、7/27・28のホタル列車等運行しています。



ストーブ列車記念津軽三味線の生演奏 夏のストーブ列車内の風景

その2

弘南鉄道のイベント列車

■「キャラ電」（平成25年9月1日運行）

弘南線で沿線市町村のゆるキャラ達とふれあう「キャラ電」を運転。8体のゆるキャラたちが集合し、車内でのほか、田んぼアート駅周辺のレクリエーション広場でご当地クイズなどを楽しみました。

■恒例の弘南線「けの汁列車」（2/14、2/21、2/28運行）

津軽の郷土料理「けの汁」を味わいながら列車の旅を楽しむ企画。各日とも定員90名以上の参加をいただき、抽選会やカラオケなどで約2時間大盛り上がりでした。



キャラ電 「ラッセル君」



けの汁列車

その3

秋田内陸縦貫鉄道のイベント列車

■ごっつお玉手箱列車（秋から春にかけて運行）

沿線地域のお母さんたちのご協力を得て『ごっつお玉手箱列車』を運行しています。『ごっつお』とは、秋田弁でごちそうの意味。各駅停車の定期列車の後ろに連結したお座敷車両のテーブルに駅に停まるごとに地元農家のおかあさんたちの料理が一品ずつ積み込まれ、峠の約6kmのトンネルを抜けるころには一揃いのお膳が出来上がる。何が来るかは開けてびっくり玉手箱。お客様へ料理をお渡しする地元農家のお母さんたちとのふれあいも『ごっつお』です。

■ホタル号（平成25年は7月6日、7月13日運行）

沿線の皆さんの協力のもと、鉄道会社の社員が3年かけて増殖に成功したホタルを生息地に放流し、ホタル号に乗って車窓からホタルが飛び交う景色を眺めていただく列車です。



ごっつお玉手箱列車内の風景と「ごっつお」



ホタル号車内でのホタル紙芝居の様子

その4

由利高原鉄道のイベント列車

■25年10月13日矢島駅前広場において、矢島駅開業75周年イベントとして元気なローカル線アシストクラブ祭りとおばこ特産品まつりを開催。

三陸鉄道応援参加によりNHKドラマ「あまちゃん」で人気の久慈まめぶ汁100食が無料で提供された。

■9/28～10/14のかかし列車、12/19～25のクリスマス列車等様々なイベント列車を運行しています。



かかし列車



クリスマス列車

東北の鉄道を元気にする取り組み（イベント列車！！）（その4）

その5

仙台市地下鉄南北線のイベント列車

- せんだいスマイルトレイン2014（3/5～3/18運行）
「地下鉄に乗って、もっと笑顔に」をテーマに写真を募集し、入賞17作品を中吊りポスターにして2週間運行。
- 婚活応援イベント「地下鉄コン2014」～せんだいスマイルトレインはびねす号（2/8運行）
一般から募集した参加者48名を乗せ、臨時運行した「はびねす号」の車内で、アトラクションなどを楽しんでもらいながら、素敵な出会いを見つけてもらおうという応援イベントを初めて開催しました。



地下鉄コン「はびねす号」と車内の様子

その6

山形鉄道のイベント列車

- 長井線生誕100周年記念号臨時列車（25年10月19日）
1913年（大正2年）10月26日、長井線は、南陽市赤湯から梨郷までの区間が開通し、今年でちょうど100周年を迎えます。翌年には長井まで開通し、以来、通勤や通学など、地域を支える交通手段として、重要な役割を担ってきました長井線を将来に引き継いでいくため、赤湯駅や長井駅などを会場に、生誕100周年を祝う記念行事を開催。

【記念イベント】

- ・ 1日駅長任命式
- ・ 記念式典
- ・ 臨時列車100周年記念号の運行
- ・ スタンブラリー
- ・ 地元名物店の売店コーナー など



フラワー長井線
100周年記念号

その7

福島交通飯坂線のイベント列車

- ConVinWine列車（こんばんワイン列車）
福島県に由来するブドウを使用したワインと、地域観光資源である飯坂線を利用して、福島に人の流れを呼び込んで飯坂温泉へと繋ぐ企画。平成25年8月31日、貸切列車で福島駅を出発し、桜水駅車両工場に設けた会場でワインパーティを開催。終了後、参加者は貸切列車で飯坂温泉のイベント（野外映画祭）へ参加。



ConVinWine列車



ワインパーティの様子

その8

会津鉄道のイベント列車

- ワクワク・ドキドキ深沢鉄橋&桑原トンネルウォーキング

平成25年7月28日と8月4日会津鉄道西若松駅集合、列車に乗車、芦ノ牧温泉南駅下車、普段は歩くことができない深沢橋梁、桑原トンネルを散策し、大川ダムを見学するコースで、途中、地元の桑原地区による「おもてなし」などがあるイベントです。

- 第9回錦秋の会津田島～西若松サイクルトレイン

平成25年9月28日会津鉄道西若松駅集合、受付をし列車に自転車を搭載、会津田島駅下車、会津田島駅から西若松駅まで約50kmを走行するイベントです。



トンネルウォーキングの様子



サイクルトレインの車内の様子

（各事業者で実施された主なイベント列車を紹介）

技術力共有化事業（その1 合同訓練の実施）

事業者単独では実施困難な大がかりな訓練等を効果的・効率的に実施するため、**鉄道事業者が連携した合同訓練等を開催して、技術力・安全性の向上**を図っています。平成25年度はIGRいわて銀河鉄道／好摩駅他・JR貨物／盛岡貨物ターミナル駅・会津鉄道／会津田島駅構内において鉄道テロへの対応、故障列車救援、総合脱線復旧訓練等を実施しました。

現状における課題

1. 高度な技術的知見を有する技術講師の招聘や大がかりな訓練を各社が個別に実施するのは非効率。
2. 長期間・遠方での研修に社員を参加させるのは困難。
3. 社内の指導のみでは、幅広い知識・技術・視野を持った技術者の育成が困難。
4. 技術分野毎（土木、電気、車両、運転）に、高い専門性と最新の知見を有する技術者の育成が必要。

訓練等を連携して行うメリット

1. 大がかりな訓練や高度な知見を有する講師の招聘等を効果的・効果的に実施。
2. 研修会等のプログラム作成に各事業者のニーズを反映。
3. 他社の優秀な技術者によるチェック（例えば、A社の技術部長がB社を指導・助言）により技術の共有・向上。



10月28日//主催:IGRいわて銀河鉄道／好摩駅他

1. 参加事業者（9鉄道事業者等/33名）

青い森鉄道、津軽鉄道、弘南鉄道、八戸臨海鉄道、岩手開発鉄道、秋田内陸縦貫鉄道、秋田臨海鉄道、仙台空港鉄道、由利高原鉄道 等

2. 訓練内容

鉄道テロへの対応訓練、故障列車の救援訓練 など

3. 開催場所

IGRいわて銀河鉄道/列車内、好摩駅 他



11月20日//主催:会津鉄道／会津田島駅構内

1. 参加事業者（7鉄道事業者等/18名）

三陸鉄道、岩手開発鉄道、由利高原鉄道、仙台臨海鉄道、阿武隈急行、福島交通、福島臨海鉄道 等

2. 訓練内容

脱線した列車の復旧訓練、救援列車の対応訓練 など

3. 開催場所

会津鉄道/会津田島駅構内



10月31日//主催:JR貨物／盛岡貨物ターミナル駅

1. 参加事業者（5鉄道事業者等/39名）

IGRいわて銀河鉄道、青い森鉄道、八戸臨海鉄道、仙台臨海鉄道、秋田臨海鉄道 等

2. 訓練内容

運転士の異常時取扱い訓練、コンテナ貨車・機関車それぞれの脱線復旧訓練 など

3. 開催場所

JR貨物/盛岡貨物ターミナル駅



技術力共有化事業（その2 鉄道保線実技研修など）

鉄道保線実技研修

1. 事業概要

マクラギの交換やレールの歪みの測定などを自ら行うことで保線技術を取得するとともに、軌道や分岐器の安全管理、保線作業の安全確保等について、2泊3日の合宿形式で学習。

2. 開催日時・場所・受講者

日 時：平成25年11月13～15日（2泊3日）

場 所：東北運輸局4F会議室、仙建工業(株)「事故に学ぶ館」等

受講者：25名（18事業者）の保線担当者等

3. 研修内容

- （1）マクラギ交換、レールの歪み測定などの現場実習
- （2）軌道の安全管理、保線作業の安全確保に関する講義
- （3）過去の保線関係事故等の学習、「事故に学ぶ館」研修



写真）保線作業実習



写真）事故に学ぶ館研修

三陸鉄道・岩手開発鉄道車両検修合同研修会

1. 開催日時・場所

日時：平成25年5月29日

場所：三陸鉄道南リアス線運行部 検修庫

2. 参加者

三陸鉄道：6名

岩手開発鉄道：5名

3. 訓練の概要

三陸鉄道車両の検査を岩手開発鉄道に委託するにあたり、月検査の実施内容について合同で研修会を開催。

車両の検修作業に技術力を持つ岩手開発鉄道に、検修作業のノウハウを聞きながら、三陸鉄道車両の特性や検修の要点等を伝え、両社の技術力向上を図った。



写真）合同研修の様子



参考) 鉄道技術・安全アドバイザー

高度な技術力等を有する鉄道技術者を、軌道・構造物、電気、運転など技術分野毎に「鉄道技術・安全アドバイザー」として、協会加盟鉄道事業者からの相談に対し指導・助言等を行っていただいている。

技術力共有化事業（その3 部品や機器の共有、メンテナンスの受委託）

枯渇する鉄道部品・高価な検査機器の相互融通

現状における課題

1. 車両・設備等の老朽化の進展と交換用部品等の枯渇（調達に長期間を要する）。
2. 高価な検査測定器を個別に購入・保有するのは不経済・非効率。
3. 経営環境の悪化に伴う維持管理コストの削減。
4. 近隣他社の保有する検査測定機器・余剰部品の情報不足。



相互融通により、迅速で低コストな部品・機器の調達が可能

福島交通と阿武隈急行での部品の譲渡

福島交通から阿武隈急行へ、戸車4個（ベアリング含む）を譲渡。



写真）戸車（ベアリング含む）→

岩手開発鉄道から会津鉄道、福島交通から阿武隈急行、秋田内陸縦貫鉄道と由利高原鉄道での機器の貸与

岩手開発鉄道から会津鉄道へ、輪重測定器（列車の揺れを計測する装置）を有償で貸与、福島交通から阿武隈急行へ、輪重測定器を無償で貸与、秋田内陸縦貫鉄道と由利高原鉄道での輪重測定器貸与（共同所有）



写真）輪重測定器

IGRいわて銀河鉄道と青い森鉄道間での機器の貸与、車両の融通

IGRいわて銀河鉄道から青い森鉄道へ、701系Mc用電気連結器・戸閉メ装置用電磁弁・制輪子（ブレーキ）を無償で貸与。また、車両のメンテナンスにあわせて、車両（7000系）を融通。



写真）電気連結器（左）、戸閉メ装置用電磁弁（右上）、制輪子（右下）

JR東日本へのメンテナンスの受委託（その1）

阿武隈急行では、車輪交換、車輪削正、輪軸探傷、ダンパ検査修繕と速度計検査修繕等をJR東日本に委託。

岩手開発鉄道へのメンテナンスの受委託（その2）

三陸鉄道、秋田内陸縦貫鉄道、津軽鉄道及び会津鉄道では、トランスミッションのオーバーホール、車輪削正、車軸探傷検査、台車重要部検査等を岩手開発鉄道に委託。



写真）車輪削正作業



写真）車軸の超音波探傷検査

営業ノウハウの共有・合同研修会

ビール列車営業方法を視察(青い森鉄道から津軽鉄道へ)

1. 趣旨・目的

近隣の鉄道事業者が実施しているイベント列車を通じて、今後の事業展開や収入確保策等について意見交換。

2. 視察日・場所

日時：平成25年7月26日

場所：津軽鉄道本社及び津軽鉄道イベント列車（納涼ビール列車）内

3. 参加者

青い森鉄道：6名

4. 協議内容

イベント列車実施を検討するにあたり、車両の活用方法や安全面の確保、準備や運営方法についての情報収集、営業戦略に関する意見交換 等



津軽鉄道
納涼ビール列車内の様子

第4回トレインアテンダント・スキルアップ講座in東北

1. 開催日時

平成25年11月21日（木）～22日（金）

2. 開催場所

二戸市内のホテル及びIGRいわて銀河鉄道「地域医療ライン列車内」 等

3. 主催者

東北鉄道協会

4. 主なプログラム

(1) 講話「地域おこしと岩手活性化について」

株式会社南部美人 5代目蔵元専務 久慈浩介氏

(2) 講話「おもてなしの心について」

株式会社浪岡時好堂 代表取締役社長 浪岡正行氏

(3) 講話「医療ライン発足の経緯と今後の見通しについて」

IGRいわて銀河鉄道 事業企画部業務担当部長 伊藤光雄氏

(4) IGR地域医療ライン乗車

車内でのアテンダント業務を見学

5. 受講者（10鉄道事業者26名）

津軽半島観光トレインアテンダント（津軽鉄道）、青い森鉄道アテンダント、三陸鉄道アテンダント、IGR地域医療ラインアテンダント、仙台空港鉄道営業・総務担当者、秋田内陸縦貫鉄道観光アテンダント、由利高原鉄道トレインアテンダント、山形鉄道総務・企画担当者、会津鉄道トレインアテンダント、いすみ鉄道（千葉県）急行列車アテンダント・営業企画担当



平成25年度の様子（IGRいわて銀河鉄道及び二戸市等で開催しました）